

第 3 回（2007.7.6）会合のまとめ

鈴木さんに作成頂いた脚本をベースに、イメージを膨らませながらディスカッションを行いました。追加したいシーンや検討が必要な事項などざっくばらんに出し合いました。

さらに、撮影に向けて、役割分担、プロジェクト進行におけるリーダー、サブリーダーを決めました。また、今回のプロジェクト参加者における実動部隊、撮影サポーター、オブザーバー、支援者など関わり方を再確認しました。下記に話し合った主な内容の議事メモを載せています。

1. 議事メモ

(1) 鈴木さんに作成頂いた脚本をベースにした話し合いで挙げた事項

- ・ 脚本：鈴木さんに半田市紹介編とドキュメンタリー編の2本の脚本を提示頂いた。
- ・ 半田市紹介編の最後のインタビューに、市長のインタビューを入れたらどうか。また、市長単独でなく、多くの市民の声の一人として、市長にも出てもらったらどうかというアイデアも出た。
- ・ 半田市紹介編の中で、半田衣浦港があるが、未来を考えると、空港という視点もあるのではないかな。空港セントレアという視点で、半田を取り巻く知多半島という捉え方もできるのではないかな。
- ・ ドキュメンタリー編は、10分という枠以上に、少しボリュームがあるのではないかな。街頭インタビュー、昔の映像との比較などは半田市紹介編に移したらどうだろうか。また、どこまでをドキュメンタリー編に入れるのか、作っていく過程がドキュメンタリー編なのかなど疑問も挙げた。
- ・ ドキュメンタリー編の「衰退の半田」という項目は、再度検討する必要があるのではないかな。マイナスイメージは、できるだけ避けた方がいいのではないかな。取材を通して、メンバーが感じたメッセージ性として、いろいろな視点がある中でそのようなメッセージならいいのではないかな。まず、映像として撮るだけ撮って、その後どのように活用するか考えたらいいいのではないかな。
- ・ 半田市紹介編におけるシーンの撮り方の種明かしをドキュメンタリー編で紹介したらどうか。
- ・ 見つかった昔の映像を懐かしそうに見入っている人々の表情を撮影したらどうだろうか。
- ・ エンディングで、関わったプロジェクトメンバーの名前を流したらどうだろうか。
- ・ ドキュメンタリー編は、プロジェクト風景を撮りためて最後に編集作業をしたらどうだろうか。
- ・ 「今の市の様子」「35年前の産業」は、メンバーで映像シーンを付箋紙を使って出し合う。

(2) 撮影に向けての役割分担について

- ・ 今回、欠席された方が多かったので、最終確認は全員が揃った段階で行うが下記のようになった。
- ・ 脚本：鈴木さん（今回作成頂いた脚本を今後、事前の調査、取材を踏まえて最終版の脚本を完成）
- ・ 事前調査、取材、ロケハン等：学生グループ&市民グループ（分担して行う）
- ・ ナレーション：榊原さん
- ・ 撮影：学生グループ&市民グループ（分担して行う）
 - ▶ 一班あたり、デジカメ1人、ビデオカメラ2人（紹介編とドキュメンタリー編）の最低3人は必要
- ・ 編集：学生グループ

(3) プロジェクト進行におけるリーダー&サブリーダーについて

- ・ 市民グループからリーダーを学生グループからサブリーダーを選出した。
- ・ プロジェクトリーダーを榊原さん、プロジェクトサブリーダーを河合さんに決まった。

(4) 今回のプロジェクト参加者における関わり方の確認について

- ・ 実動部隊として市民グループ5人と学生グループ5人、さらに撮影サポートして学生5人、市はオブザーバー、大学および松見さん、水野さんは、コーディネーターとして関わる。

(5) その他

- ・ メーリングリストを開設する。（大学のメーリングリストの開設を川部さんが対応）
- ・ 10月1日の70周年に式典には、撮影した範囲で編集した予告編みたいなものを出したらどうか。